

シルバー連合会

ふくおか

第36号

平成26年12月発行

ご挨拶…1

定時総会
及び役員研修会…2

親孝行代行事業…3

ふくおか子育て
マイスター制度…4

平成26年度
安全就業促進大会…5

シニアワーク
プログラムのご案内…7

シルバーフェスティバル
2014開催 ……9



公益社団法人

福岡県シルバー人材センター連合会

シルバー人材センターと ともに進める

「70歳現役社会」

公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会におかれましては、県内各地域にある42のシルバー人材センターを統括され、適正な事業運営はもとより、高齢者の就業や社会参加の促進に大きな成果をあげておられました。また、多くの高齢者の皆さまに対し、働く場所の確保や豊かな生活や生きがいの提供を進められ、会員数は26,000人、年間受注額は約100億円という全国屈指の業績をあげておられます。これも榎井会長をはじめ、関係者の皆さまのご努力、御尽力のたまものでもあります。深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

急速に少子高齢化が進む我が国では、4人に1人が高齢者の時代となりました。高齢者の皆さまの多くは、大変お元気で、「働きたい」「社会の役に立ちたい」と考えておられます。こうした皆さまのお気持ちにこたえるため、福岡県では、全国に先駆けて「70歳現役社会」づくりに取り組んでいます。

この取り組みの拠点となる、「70歳現役応援センター」は、一昨年4月の開設以来、多くの皆さまに利用していただき、これまでに1,500人が再就職やボランティアなどで活躍されています。



福岡県知事
小川 洋

す。応援センター内には、シルバー人材センター連合会にも相談窓口を設けていただき、県内各地域にあるシルバー人材センターの情報提供などを行っていただいております。

県では、「70歳現役社会」づくりの事業の一つとして、子育ての経験が豊富な高齢者の皆さまを「子育てマイスター」として養成しています。シルバー人材センター連合会には、本県が進める「子育てマイスター」の養成に御尽力いただき、これまでに700名を超える方々が「子育てマイスター」に認定され、地域の子育ての現場で活躍しておられます。

少子高齢化と人口減少が同時進行する我が国において、活力ある社会経済を維持していくためには、高齢者の皆さまが大いに力を発揮していくことが必要です。県としましては、高齢者の皆さまに多様な活躍の機会を提供する「70歳現役社会」を推進し、豊かな長寿社会の先進モデルの実現を目指してまいります。

福岡県シルバー人材センター連合会及び各地域のシルバー人材センターの皆さまには、長寿社会の担い手として、ますます御活躍されますことを心から期待いたします。

この度、前任の鹿野会長のご退任を受け、副会長であった私が、皆様のご推挙により公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会会長の重責を担うこととなりました。就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

10月に発表された日銀短観によると、景況感を示す代表的な指標の「大企業・製造業」の業況判断指数が半ば以上に改善しています。また、雇用環境も改善しており、「雇用人員判断指数」は、リーマンショック前の2008年3月以来、初めて、全規模・全業種で「過剰」より「不足」が多くなっています。

景気や雇用情勢に回復の兆しがみられる一方で、近年のシルバー人材センター事業は、会員数や契約金額など主要な事業実績は振るわず、低迷状態を続けています。しかし、高齢化は一段と加速し超高齢社会にあっても、活力ある社会の実現を目指す我が国にとつて、シルバー人材センターの存在は、必要不可欠なものです。

公益社団法人北九州市シルバー人材センター理事長として、1年以上シルバー事業に携わって感じたことですが、今センターに必要なのは、入会した

くなる魅力、仕事を頼みなくなる魅力ではないかと思えます。高齢者が長い人生経験の中で培ってきた知識や経験を活かすことはもちろん、ベクトルを変えて何か新しいものへも挑戦できる、そんな仕事のバリエーションや居場所があっても良いのではないのでしょうか。

福岡県行政のご協力もいただき、10月から県内の5つのセンターが親孝行代行事業に取り組みすることとなりました。離れていても、親の安否を確認、炊事・掃除などの生活支援、子・孫などの元気な姿を写真などで情報提供するという事業です。親孝行を形にしたいと望まれる県内外の方々にご利用いただこうというものです。これからは、こうした県内のシルバー人材センターが一丸となつて取り組める事業の模索、会員、事務局が一緒になつて創意工夫を凝らした組織づくりが必要と考えます。

今後、微力ながら全力を尽くして会長職を全うする所存です。シルバー事業に携わる皆様のご指導、ご支援を切にお願い申し上げます。就任にあたっての挨拶といたします。

就任のあいさつ



公益社団法人
福岡県シルバー人材
センター連合会 会長
榎井 正喜

定時総会及び役職員研修会

定時総会

平成26年6月19日(木)午後1時から博多都ホテル3階孔雀の間において、平成26年度定時総会を開催しました。

櫛井正喜連合会会長のあいさつに始まり、続いて来賓の福岡労働局職業安定部職業対策課澤忠成課長と福岡県福祉労働部労働局新雇用開発課岡隆課長補佐に祝辞をいただきました。また、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会須藤忠雄会長からは祝電をいただきました。

総会の議長は、公益社団法人飯塚市シルバー人材センター大塚邦勝理事長が選出され、議事が進められました。当日審議された議事は、第1号議案平成25年度事業報告、第2号議案平成25年度決算報告及び監査報告、第3号議案役員選任でした。いずれも満場一致で賛成し、原案通り可決承認されました。なお、役員は理事の辞任に伴い、後任理事が選任され、それぞ

れ就任を承諾されました。第3号議案終了後、臨時理事会を開催し、常務理事が選定されました。

常務理事 桑野六郎(福岡県SC連合会事務局長) 理事 生田征生(福岡市SC理事長) 理事 藤井喬介(志免町SC理事長) 理事 吉武正一(みやこ町SC理事長) 理事 坂本丈祐(うきは市SC理事長)

役職員研修会

定時総会終了後、役職員研修会を開催しました。演題は「超高齢社会におけるシルバー人材センター」



のあり方」、講師には公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団研究部長石橋智昭氏を迎え、講演をお願いしました。高齢者の社会参加と生活支援サービスについて、シルバー人材センターは重要な担い手となる方策をわかりやすく説明され、現在県内センターの一部において実施しているワンコインサービスの充実や介護予防・日常生活支援総合事業への積極的な対応等について、貴重なアドバイスを受けました。超高齢社会の中の元気な高齢者の居場所づくり、会員の高齢化はピンチではなくチャンスと捉える姿勢で、地域の期待に応えられるシルバー人材センターとしての体制強化がより一層必要であることを認識いたしました。



「親孝行代行サービス」 が始まりました！

福岡県下のシルバー人材センターで、平成26年10月から親孝行代行サービスを開始しました。

「離れて暮らしているから、親のことが心配。でも仕事が忙しくて…」「食事はちゃんとしているかな…」など、遠方で生活する家族の不安やもどかしさの解消に、少しでもお役にたてればという思いでスタートした事業です。この事業には、3つの柱があります。

日常生活支援

家事や外出など、日常生活のちょっとした困りごとの支援や趣味のサポート



安心情報

お仕事にお伺いした際に、日常生活の様子をご家族にお知らせ



情報伝達

タブレット端末などを使って、動画等の親子の情報交換をお手伝い



日常生活支援については、食事の支度、掃除、洗濯、ゴミ出し、買い物等の家事、庭の水やり、植木の剪定、墓掃除等の屋外作業、通院介助、話し相手、軽介護、将棋や囲碁の相手や家庭菜園等の趣味のサポート、住宅用火災警報器の取り付けなど、家事の支援を中心としたサービスを行います。

安心情報については、日常生活支援のサービスに伺った際、日常生活の様子を簡潔にお知らせするものです。

情報伝達は、タブレット端末などを使用し、お孫さんの元気な姿を動画でお伝えしたり、電子メールで送られてきた家族写真を、プリントアウトなどして伝達するサービスです。

10月からのスタートは、北九州市をはじめとして、大牟田市、豊前・上毛、宮若・小竹、志免町の5つのシルバー人材センターです。もちろん、3本柱

が基本となりますが、タブレット端末を使用した動画等の伝達は準備に時間がかかることから、すでにシルバー人材センターで行っている福祉・家事援助サービスを活用して、日常生活支援を中心に行っています。

来年度(平成27年4月)からは、県内でほとんどのセンターが開始する予定です。

県外でも、多くのニーズが予想されることから、連合会では、全国シルバー人材センター事業協会のネットワークを活用し、全国的な展開、受注が可能になるよう全国に情報を提供し、広報活動を行っています。

これなら
安心ですね！

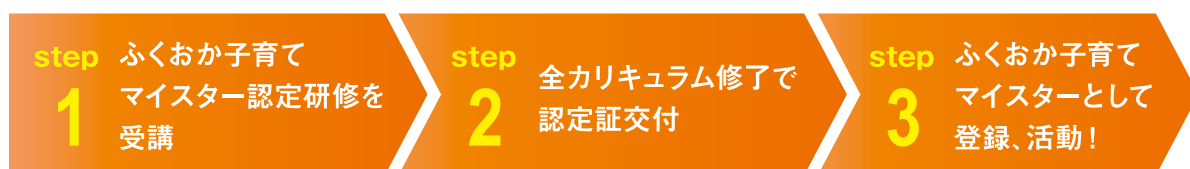


ふくおか子育てマイスター制度

豊富な経験を持つ高齢者が、地域の子育てを応援する福岡県独自の制度です。60歳以上の子育て支援活動に関心がある方を「子育てマイスター」として認定・登録し、様々な形でご活躍頂けるようお手伝いします。まずは今年度8回開催される「ふくおか子育てマイスター認定研修会」を受講ください。シルバー人材センターのサービスをより良いものへと高め、県民の方々に広く知っていただくチャンスです。たくさんのご参加をお待ちしています。



ふくおか子育てマイスターへの 3 ステップ!



ふくおか子育てマイスター認定研修会カリキュラム

1日目	4時間	子育て支援とは?	4日目	4時間	子どものことを知る
2日目	5時間	コミュニケーションの方法	5日目	5時間	子どもと遊び
3日目	2時間	子育て支援の実際	6日目	4時間	健康と安全
	2時間	親のことを知る	7日目	4時間	支援者としての“私”

(全7日間・30時間)

平成26年度 後期 日程および研修会場

開催地	日程	会場	定員	応募締切
久留米市	平成27年 1/7(水)・1/9(金)・1/14(水)・1/19(月)・1/21(水)・1/26(月)・1/28(水)	サンライフ久留米 久留米市諏訪野町2363-9	50名	12/22(月)
福岡市	平成27年 2/3(火)・2/5(木)・2/10(火)・2/12(木)・2/18(水)・2/23(月)・2/26(木)	ふくふくプラザ 福岡市中央区荒戸3-3-39	50名	1/20(火)

「ふくおか子育てマイスター」コーナー

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1丁目1-33 はかた近代ビル5F
福岡県70歳現役応援センター内

お問合せ先

TEL 092-481-1312
FAX 092-623-5677

窓口相談 月・水 10:00~16:00

電話相談 月~金 9:00~17:00

平成
26年度

安全就業促進大会開催

県内全センターの、安全就業対策の一層の
推進と、更なる安全意識高揚のために



平成26年7月3日(木)、福岡市立中央市民センターにおいて、シルバー人材センター事業安全・適正就業強化月間の取り組みの一環として、安全就業促進大会が開催されました。県内42のシルバー人材センターから、357名が参加し、なお一層の安全就業に対する意識を高める大会となりました。

連合会安全・適正就業対策委員会の伊藤英俊委員長(嘉麻・桂川広域SC理事長)の開会あいさつ、会長あいさつ、来賓祝辞に続き、安全就業センターの表彰、安全標語の入賞作発表と続きました。

安全就業センターは、事故件数や、怪我をした際の程度など、連合会が設けた独自の基準をクリアしたセンターが表彰されるものです。今年度は、久山町、みやこ町、小郡大刀洗広域、筑前町の4センターが表彰を受けました。

続いて、安全標語の入賞作の発表、表彰です。入選作は、以下のとおりです。

安全標語の受賞結果

最優秀賞

忘れるな ヒヤリですんだ その瞬間

(福岡市SC 木室和孝様)

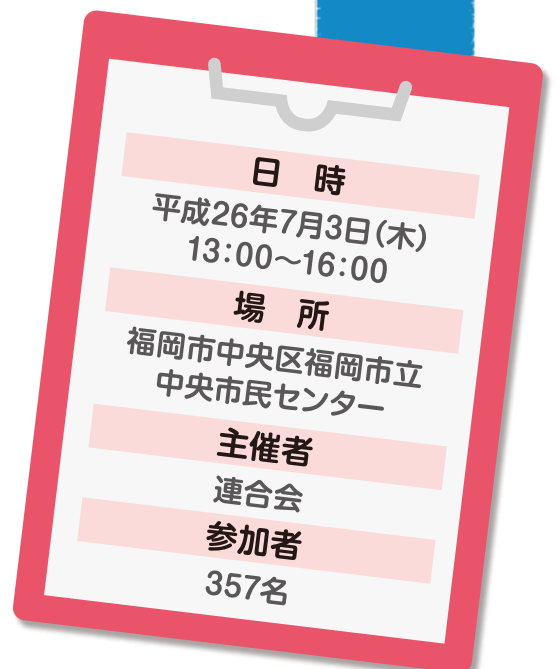
優秀賞

作業前 チームで確認 危険予知

(豊前・上毛SC 安元輝己様)

身につけよう ルールとマナーと
ヘルメット

(豊前・上毛SC 小寺弘子様)





その後、連合会安全・適正就業対策委員会報告に続き、福岡市シルバー人材センターの松尾慎治安全・適正就業担当理事による事例発表がありました。就業途上における交通事故をテーマに話をされ、特に自転車事故が増加していることから、予防策等の取組みについて、福岡市の状況を詳しくお話しいただきました。最近では、加害者になることも多い自転車事故です。気を引き締める良いきっかけとなったと思います。

続いて、福岡県警察から、「二七電話詐欺」に対する注意喚起、交通事故の発生状況と予防に関する講話があり、益々巧妙化する詐欺の手の紹介や、危険箇所や服装に注意することによる事故予防など、生活にも関連した話がありました。

休憩の後、「シニアの安全対策」と題し、総合緑研の松永啓志郎代表取締役による公演が始まりました。松永氏によると、作業中のちょっとした油断と些細な見逃しが大きな事故につながるのと、参加者には剪定作業や刈払い作業をする会員も多く、自分のこととして熱心に耳を傾けて聞いておられたようです。

大会のフィナーレとして、春日市シルバー人材センターの安全・適正就業対策委員会委員長の井上悦夫氏による、安全就業宣言を行いました。今年度は「事故に遭わない、遭わせない」をモットーにし、力強い宣言となりました。

最後に、連合会安全・適正就業対策委員会の怡土朝幸副委員長（大牟田市SC事務局長）による閉会宣言がされ、盛会のうちに終了しました。



佳作

無理をしない やめる勇気が 身を守る

(宗像市SC 土井裕仁様)

あなたです 事故をおこすも 防ぐのも

(うきは市SC 中島英幸様)

気をつけて 急ぐときこそ 一呼吸

(太宰府市SC 木村幸司様)

安全は 『確認ヨシ』の 積みかさね

(筑前町SC 藤江良治様)

おこたるな 基本動作と 危険予知

(田川地区SC 木本弘様)

入賞者には、表彰状及び記念品が贈呈されました。



シニアワークプログラムのご案内

シルバーワークプログラム地域事業とは

少子高齢化の進展、高年齢者を取り巻く厳しい雇用情勢、雇用・就業ニーズの多様化等の社会環境に対応して行くためには、できるだけ多くの高年齢者が長年培った知識・経験を生かし、その意欲と能力に応じ、労働等を通じて社会を支える側に回ることが重要であり、健康で意欲と能力がある限り、年齢にかかわらず働き続けることができる「生涯現役社会」を実現する必要があります。

55歳以上の高年齢者の雇用失業情勢は、若年者と

共に完全失業率等、非常に厳しい状況にあり、再就職支援の必要性が強く求められているところです。

シニアワークプログラム地域事業は、福岡県内在住の主に55歳以上の高年齢者を対象に、雇用を前提とした技能講習、管理選考(面接会)を行う、国の事業です。これら事業は、公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会が国からの委託を受けて実施しているものです。

技能講習 (受講料無料)

福岡県内の事業主団体等の協力のもと、雇用を前提とした技能講習を実施します。これは、仕事に従事するにあたっての必要な知識と技術の基本過程を習得するものです。福岡県内の福岡、北九州、県南、筑豊の各地域で行います。

受講料は無料です

受講対象者は、次のすべての要件に当てはまる方です。

- 福岡県内に在住の方
- 55歳以上の高年齢者の方
- 雇用・就業を希望される方

※趣味・教養としての受講はご遠慮ください。
※受講希望者はハローワークでの求職登録が必要です。



詳細については、当連合会または最寄りのハローワーク及びお近くのシルバー人材センターに「**技能講習受講申込書**」をご請求ください。

管理選考 (面接会)

各技能講習を修了した方を対象として、ハローワーク、事業主団体と共催で管理選考(面接会)を開催し、就職を目指します。

実施技能講習(科目)一覧表

No	技能講習(科目)	講習科目の内容
1	フォークリフト 運転技能講習	フォークリフトを使った走行・荷役の安全な作業方法を中心に技能を習得し、資格取得を目指します。講習修了者(試験合格者)へは労働安全衛生法に係る修了証(資格証)が交付されますので、資格を生かした雇用・就業が期待できます。
2	ビジネス パソコン実務講習	事務系の職種に就くにあたり、必要なパソコンの操作技術(実務でよく使われる文書の作成、集計表の作成、グラフの作成等)の習得を目指します。
3	パソコン会計 事務講習	会計経理事務処理の専門知識を学び、併せて、会計ソフト等を活用したパソコン操作による処理技術を習得することにより、会計経理事務への雇用・就業を目指します。
4	マンション 管理員講習	マンション管理員としての入門・基本から始め、管理組合の知識、関係法規、清掃点検の実務、防犯、建物・設備の維持管理など、業務に必要な知識・技能を習得します。
5	樹木・緑地 管理講習	樹木の剪定・整枝、造園等の基礎知識、安全講習、機器の手入れなど総合的な技能習得を図り、造園業等への就職を目指します。
6	刈払機・チェーンソー 取扱講習	刈払機を使用する際の除草作業、チェーンソーによる樹木の伐木(切り倒し)作業等について、安全な取扱い方法を中心に技能を習得します。また、工作中的ケガや事故を未然に防止するため、災害の危険を予知する訓練や、熱中症への対策を学習します。講習修了者へは労働安全衛生法に係る修了証(資格証)が交付されますので、資格を生かした雇用・就業を目指します。
7	クリーンスタッフ 養成講習	清掃業務の基礎的な知識や技能を習得すると共に、マンション管理員の業務についても学び、幅広い就職を目指します。
8	警備・受付管理 業務講習	ビル・建物の施設警備及び受付管理に係る知識をはじめ、警備業務全般に関する知識技能を習得します。また、報告書や日報などを簡易に作成するために必要なパソコン技能も習得します。
9	介護職員 初任者研修	介護保険施設やホームヘルパーとして働くために、介護業務に関する必要な知識及び技術・就業倫理を身につける学習です。修了試験の筆記試験に合格すると、介護保険法に定める「介護職員初任者研修」を資格取得することができます。
10	社会保険入門講習	労働保険、社会保険の知識を習得し、多様な業務を行う事務補助員として、雇用・就業を目指します。
11	調理スタッフ 養成講習	調理技術の基本を学び、食品衛生、食中毒の防止策、栄養素の補給、素材の選択方法、バランスの良い食事の提供といった知識を習得することにより、調理スタッフとしての人材養成を目指します。
12	農業支援講習	耕作用土地の性質、栽培品目、植え付け時期等の基礎知識を習得し、農作業支援者の養成を図り、雇用・就業を目指します。

平成26年度 高齢者技能講習 受講生募集のご案内 — 平成27年 1~2月開催 —

講習名	講習日程	申込 (2W前)	講習会場	講習 日数	講習 定員
警備・受付管理業務	2/9(月)~2/19(木)	1/26(月)	第7岡部ビル、ユーコウビル	8日	15人
樹木・緑地管理	2/18(水)~3/5(木)	2/4(水)	筑紫野市 総合保健福祉センター 「カミーリヤ」	10日	20人
フォークリフト運転技能	1/20(火)~1/28(水)	1/6(火)	久留米人材開発センター	7日	15人

※講習日程及び会場は変更になる場合がございます。

シルバーフェスティバル2014開催

シルバー人材センターでは10月を普及啓発促進月間と定め、全国的に様々な活動をしています。福岡県では、シルバー人材センター会員の就業内容の紹介や、シニアワークプログラム地域事業などについて、広く県民の方々に知っていただくため、福岡市早良区百道浜のRKB放送会館特設会場で『シルバーフェスティバル』を開催しています。



平成26年度は、10月18日(土)、19日(日)の両日に開催しました。県内各地から連合会を含め11団体が参加し、延べ8万人の来場者を迎えました。

福岡市や筑紫野市、久留米市、大牟田市のシルバー人材センターが展示販売している小物や古着のリサイクル、朝倉市の伝統工芸「甘木絞り」(藍染め)などは、来場者の多くが会員からの説明を聞きながら手にとってご覧いただきました。

ご購入いただいた方も多かったです。また、糸島市は昨年に引き続き苔玉を出展しましたが、盆栽ブームと相まって、マンションなどで生活する周辺住民の方々にとっては、小さな緑、小さな潤いが興味を引いたようです。

例年参加している直方市が販売する弁当は、両日とも終了時間前にほぼ完売。また、柳川市のソフトクリーム販売や、うきは市の柿や梨などの地域特産品もあつという間に売り切れです。小郡大刀洗広域のフライドポテトや石焼き芋など、やはりイベント会場での食べ物、特に実演販売は人気があるようです。

大川市は家具・木工の町です。大川市はセンターの会員が作る花台や人形、電気スタンドなどを展示販売していました。イチヨウの木でできたまな板も販売されており、会場でオーダーメイドの発注もあっていましたようです。

連合会も、チラシ配布などによる、県内全般のシルバー人材センター事業紹介や、国からの委託事業である高年齢者の方々を対象とした雇用就業支援事業（シニアワークプログラム地域事業）の広報活動を行いました。また、連合会では、平成24年度から開催しているふくおか子育てマイスター研修（福岡県より受託）のPRも力を入れました。



例年、親子連れを対象とした「遊びの広場」を設置していますが、昨年からはマイスター研修を修了した「マイスター」の方々にお手伝いしていただいています。ボランティアを中心とした活動グループ「あゆみ」の皆さんによって、「どんぐり」を使ったやじろべえや独楽、ペットボトルを活用した輪投げなどを楽しんでいただきました。やじろべえなどは、竹ひごとどんぐりの間隔や重量バランスが難しいのですが、昔取った杵柄でしょうか、マイスターさん達の技が冴え、子どもたちの関心と呼んでいました。

両日とも天候には恵まれ、多くの来場者を迎えることができましたが、ブースに立ち寄っていただいた中には、シルバー人材センターが生活支援サービスや、家庭内でのちょっとしたお困りごとに対応していることなどは、ご存じない方々も多かったようです。



編集後記



まずは、本誌刊行が、諸事情により大幅に遅れましたこと、深くお詫び申し上げます。

二〇一四年「今年の漢字」第一位は、「税」だったそうです。今年の漢字とは、公益財団法人日本漢字能力検定協会が募集を行い、日本語漢字一文字を選びその年の世相を表す字であるとして決定し公表するものです。

二〇一一年は「絆」、東日本大震災が起こり、復興に向けた被災した方々の懸命な姿や、それを支援するボランティアの活動、国民全体が絆を感じる年だったことから、まさにぴったりの一文字であったと思います。その後、二〇一二年は「金」金環日食、自立式電波塔としては世界一の金字塔を打ち立てたスカイツリーの開業、ロンドン五輪の金メダルなど、金一色でした。

昨年は「輪」であり、東北楽天イーグルスの日本シリーズ優勝などの、チームワークや地域の人の輪が注目されたことによります。

こうして、歴代の漢字をみると、たった一文字で世相を表すことができるのにも感心しますが、「税」には何となくさびしさも感じます。「絆」や「輪」は、人と人との繋がり、ふれあいをイメージできますが、「税」といえば消費税の増税が一番に浮かび、そのほか、税の使い道問題（政治とカネ問題の頻発）が思い浮かんでしまいます。

しかし、「税」を正しく理解し、正しく納める、また使い道についても事実を知り、国民としての声をあげていくことは重要なことです。

清水寺の貫主により揮毫される「税」を、今年の締めくくりの一文字として、噛みしめたいと思います。



公益社団法人 福岡県シルバー人材センター連合会

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル8階
TEL/092-623-5656 FAX/092-623-5677
URL/http://www.fscr.or.jp